

ハートクロス HEART CROSS

芳賀赤十字病院だより

vol.4 ²⁰¹⁶ October



回復期リハビリテーション病棟オープン!

特集

回復期リハビリテーション病棟オープン



■ ~地域とつながる~ 登録医情報 関本眼科医院 (市貝町)
大森歯科医院 (茂木町)

Topics.....

看護の現場を体験したい! 高校生が「ふれあい看護体験」
「平成28年度栃木県・さくら市総合防災訓練」に参加
「第4回 小児医療連携の会」を開催

Information.....

新たにマルチスライスCT機器を導入
新任医師紹介

特集

一寝たきり防止、在宅復帰を目指してー 回復期リハビリテーション病棟オープン

7月1日(金)北館3階が、回復期リハビリテーション病棟としてオープン。これに伴い、7月5日(火)回復期リハビリテーション病棟開棟式を開催。安田 是和病院長をはじめ幹部職員らが、テープカットを行いました。

病棟を再開するにあたり、患者さんの利便性向上のためトイレや浴室など改修。また、病室を広く使用できるようベッドを配置しました。

開棟式で、安田病院長は「県東保健医療圏(芳賀地区)では、回復期病床不足が指摘されている。今後は、さらに回復期病床の役割と在宅復帰の必要性が高まるだろう。患者さんが自宅や社会にスムーズに戻れるよう、取り組んでいきたい」と話しました。



開棟式の様子(幹部職員ら)

回復期リハビリテーション病棟とは

脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者さんに対し、寝たきり防止と在宅復帰をするために障害をできる限り改善し、日常生活の自立を図ることを目的としたリハビリテーションを集中的に行うための病棟。



チーム医療で患者さんをサポート!

医師・看護師・リハビリスタッフなど、各専門職のスタッフがチームで情報を共有し、患者さんの在宅復帰に向けた支援をさせていただきます。

医師

副院長 佐藤健太郎

発病前に近い生活が送れるように、急性期治療後で回復能力の高い時期に行うのが、回復期リハビリテーションです。専門的なリハビリと捉え、日常生活動作訓練を中心に実施します。

多職種(医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医療ソーシャルワーカー等)で帰宅後の生活を見据えたサポートをいたします。



看護師

看護師長 三橋 明美

24時間を通して、患者さんがリハビリテーションで獲得した“できること”を、日常生活のなかで“できる”ように援助しています。

また、他職種と協働して退院後の生活を考え、退院支援を行っています。患者さんが納得して笑顔で退院できることが、私たちの目標です。



リハビリ

回復期リハビリテーション課長
(作業療法士) 神尾 昌孝

麻痺の改善や、痛みをとるリハビリのほか、対象者それぞれの退院後の生活を想定し、日常生活動作獲得をお手伝いいたします。



薬剤師

医薬品情報係長 関澤 真人

入院患者さんに最適な薬物療法を提供できるよう、病棟スタッフと協働しています。また、服薬支援として、アドヒアランス(患者が積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って治療を受けること)の向上を目指していきます。



回復期リハビリテーション病棟の入院生活

回復期リハビリテーション病棟では、患者さんが寝たきりにならないよう、起きる、食べる、歩く、トイレへ行く、お風呂に入るなどの日常生活動作(ADL)を積極的に取り組むことで、スムーズな家庭復帰を支援できるよう取り組んでいます。

必要に応じ、リハビリスタッフが患者さんの自宅を訪問し、家屋構造を確認。今まで生活されていた環境に適応できるよう、リハビリテーションを実施します。

入院生活紹介

<1日のスケジュール>

6:00	8:00	9:00	12:00	13:00	18:00	21:00
起床・着替	朝食	リハビリ・回診・入浴	昼食	リハビリ・入浴	夕食・着替	就寝

入浴動作



滑りやすい浴室で転倒することがないように、福祉用具を利用し、安全な方法を検討します。

歩行



退院後の歩行状態に合わせ、歩行練習を行います。

ベッドサイド



1人で起き上がることができるよう、ベッドの位置や起き上がる方法を検討し、身体の使い方を練習します。

畳上からの立ち上がり



床や畳からの立ち上がりや座る方法を考え、安全にできるよう練習します。

折り紙・塗り絵など



リハビリの一環として、スタッフと折り紙・塗り絵などを楽しみます。



回復期リハビリテーション病棟紹介

病室



病室のようす。

浴室



一般住宅用の浴室を整備。退院後の自宅での入浴に備えます。

ラウンジ



患者さん同志で談話したり、作業をしながら、リハビリを進めます。

～地域とつながる～

登録医情報

地域の先生がたは、地域の患者さんの医療を支える大切なパートナー。地域医療を支えてくれる医療機関の方々がいるからこそ、地域医療連携を進めることができます。

今号は、関本眼科医院(市貝町)と、大森歯科医院(茂木町)をご紹介します。



〈スタッフの皆さんよりメッセージ〉

「皆様の笑顔のために」を合言葉に、スタッフ一同頑張っています。急を要する手術などにも出来る限り対応致します。

最前列右から2人目：関本 慎一郎院長

関本眼科医院 (市貝町)

〈対象疾患〉 白内障、緑内障、糖尿病網膜症、加齢性黄斑変性など

〈得意分野〉 各種日帰り手術

● 当院との地域連携について、どのように考えていますか？

当院に通院されている患者さんの多くは、何らかの基礎疾患をお持ちです。芳賀赤十字病院とは眼科だけでなく、糖尿病手帳を介した情報共有や、手術予定患者さんの術前状態照会など、内科をはじめ各科の先生方との連携を行っています。

● 地域の方々へのメッセージ

眼科の少ない県東地区で、地域のかかりつけ医として患者さんに気軽に受診していただく一方、可能な限り質の高い医療を提供し、地域に貢献できるよう一層努力してまいります。

基本情報

- 院 長：関本慎一郎
- 住 所：栃木県芳賀郡市貝町市塙1763-1
- T E L：0285-68-0005
- 診療科目：眼科
- 休 診 日：木曜日、日曜日、祝日



〈大森 明院長よりメッセージ〉

診断と治療法について、丁寧に説明したうえで治療にとりかかるよう心がけています。

大森歯科医院 (茂木町)

〈対象疾患〉 むし歯・歯周疾患、欠損補綴

〈得意分野〉 根管治療

● 当院との地域連携について、どのように考えていますか？

むし歯や歯周疾患、抜歯や入れ歯の治療は、本院で行っていますが、診断や治療の難しい口腔疾患の患者は、芳賀赤十字病院に紹介しています。

治療経過の報告もしていただけるので、安心して紹介できます。

● 地域の方々へのメッセージ

むし歯や歯周疾患は、予防が大切です。毎日の歯みがきを心がけましょう。かかりつけ歯科医をもち、すこしでもおかしいと思ったら早期受診しましょう。

基本情報

- 院 長：大森 明
- 住 所：栃木県芳賀郡茂木町増井93-6
- T E L：0285-63-0723
- 診療科目：歯科
- 休 診 日：木曜日、日曜日、祝祭日



Topics

看護の現場を体験したい! 高校生が「ふれあい看護体験」

8月5日(金)、高校生に看護に対する理解と関心を深めてもらうことを目的に、「ふれあい看護体験」を開催。栃木県と茨城県の6高校から33名の高校生が参加し、病棟などで看護の現場体験をしました。

参加した高校生は、8グループに分かれて病棟で看護を体験。小児科病棟を担当した高校生は、看護師指導のもと、入院中の子どもたちに食事介助や絵本の読み聞かせを行いました。かわいい子どもたちを前に、声かけするなど積極的に関わろうとする姿が見られました。また、整形外科病棟で看護体験した高校生は、入院患者さんの血圧を測定。緊張しながらも、患者さんと積極的に関わる様子がみられました。



血圧測定の様子

当院救護班が「平成28年度栃木県・さくら市総合防災訓練」に参加

8月28日(日)、「平成28年度栃木県・さくら市総合防災訓練」がさくら市総合公園にて行われ、当院救護班ら9名が参加しました。

今回の訓練は、「栃木県中央部にマグニチュード7.3の直下型地震が発生」の災害を想定し、日赤救護班・警察・消防・自衛隊など、計116の関係機関が連携し訓練が行われました。

当院救護班の訓練内容は、被災地に救護所を設営し医療救護を行うというもの。救護所テントの設営後、医師・看護師は次々に送られてくる患者のトリアージや手当て、主事は患者の情報収集などを行いました。参加した救護班メンバーは今回の訓練に参加し、「いつ起きるかわからない災害に対応するために、訓練し備える重要性を改めて感じた」と話しました。



救護班活動の様子

「第4回 小児医療連携の会」を開催

7月21日(木)「第4回 小児医療連携の会」を開催。医療関係者や学校関係者など約100名が参加しました。

当院の小児科病棟看護師2名が『低身長 の検査と治療』について、その原因や治療方法などを説明。検査や治療が必要な子どもたちに対して、その必要性を理解してもらうための方法(プレパレーション)を実践したり、成長ホルモン補充療法などについて話しました。

次に、齋藤真理第一小児科副部長と小児アレルギーエジュケーター(PAE)の資格を持つ深谷垂矢看護師が『アレルギー指導外来の立ち上げにかかわって』と題し、それぞれの立場からアレルギー疾患・指導の実態について話しました。参加者からは、「アレルギー指導の現状を知ることができた」また、「PAEの患者との具体的な関わり方が分かり、今後自分も資格取得を目指したいと思う」などの意見が聞かれました。

このほか、栃木県担当者が『改訂された小児慢性特定疾病の現状と問題点』と題し、小児慢性特定疾病患者の状況や、それにかかる医療費助成制度などについて説明しました。



発表の様子

(左：齋藤第一小児科副部長 右：深谷看護師)

Information

新たに、マルチスライスCT機器を導入 ～最新鋭の2管球～

このたび、当院では新たにマルチスライスCT (2管球、128スライス搭載型) を導入し、8月から本格稼働を開始。導入にあたり、8月2日 (火) 関係者らがテープカットを行いました。

新CTは、2つのX線管球で同時にデータを収集することにより、従来のCTより“短時間で負担の少ない検査”が可能となりました。また、胸部CT検査の息止め時間が1秒以下、心臓CT検査では短時間で冠動脈を明瞭に描出可能となっています。新世代のDetectorにより、さらなる被ばく低減 (被ばく線量: 1mSv以下) を実現しています。

<主な機能>

- 全肺撮影がわずか0.6秒で可能; 息止め不要の撮影速度
- 心臓撮影の被ばく1mSv以下で可能; 撮影時間はわずか0.25秒
- 進化したDual Energyイメージングが得られる
- 新開発の次世代型検出器により、さらなる被ばく低減が実現



(左:山岸診療放射線技師長 中央:安田病院院長 右:中嶋放射線科部長)



●氏名

①役職 ②出身地 ③ひとこと
の順に掲載

平成28年7月に赴任した医師を紹介

Profile

ぬま お のりかつ
沼尾 規且



- ①消化器内科副部長
- ②栃木県宇都宮市
- ③芳賀地区の医療に貢献できるよう、頑張ります。よろしくお願いします。

表紙紹介

読者の方に「読みたい!」と手に取ってもらえるよう、表紙は当院の行事などで撮影した「イチ押しの1枚!」を掲載しています。

今号の表紙を飾ったのは、回復期リハビリテーション病棟に関わる職員たち。

医師、看護師、リハビリ関係など多職種のスタッフが、カンファレンスを実施(週に2~3回)。主に患者さんの診療や在宅に向けた取組み等を情報共有し、それぞれの役割分担を確認します。



多職種カンファレンスのようす。電子カルテを見ながら、話し合いを進めます。

芳賀赤十字病院の理念及び基本方針

< 理 念 > 地域に貢献する病院

< 基本方針 >

1. 患者中心の医療
2. 安全で質の高い医療
3. 赤十字の使命に基づいた社会貢献



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

芳賀赤十字病院

〒321-4306 栃木県真岡市台町 2461
TEL 0285-82-2195 (代) FAX 0285-84-3332 <http://www.haga.jrc.or.jp/>

詳しくは [芳賀赤十字病院公式 HP <http://www.haga.jrc.or.jp>](http://www.haga.jrc.or.jp)

[芳賀赤十字病院公式 facebook](#)

どちらも「芳賀赤十字病院」で検索

芳賀赤十字病院

検索



編集協力 / 榎松井ピ・テ・オ・印刷